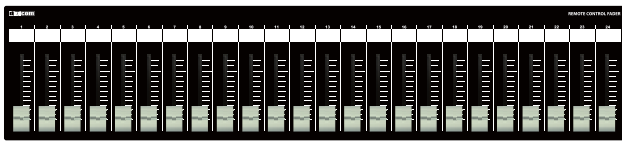
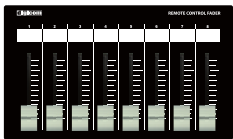




Ethernet Fader for ControlSpace

LF08C / LF16C / LF24C/LF24C-EIA

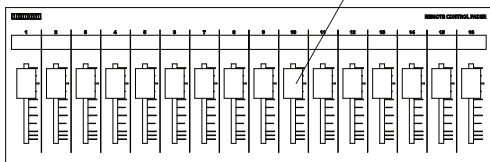
取扱説明書



LFシリーズの特徴

LF-CシリーズはBose社製品ControlSpaceシリーズのミキシング機能の一部をコントロールすることが可能な設備用フェーダーユニットです。誤操作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレータがいない場所でも簡単に扱うことができます。

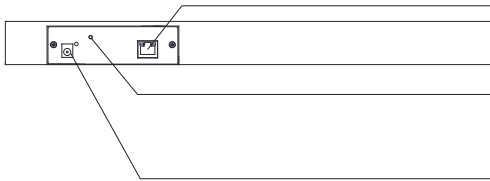
■フロントパネル



フェーダー

LF08Cは8ch、LF16Cは16ch、LF24CとLF24C-EIAは24ch分のボリュームをコントロールできます。本製品はControlSpaceの通信プロトコルを使用しており、ControlSpaceDesigner内でGainをGroupに追加することにより音量をコントロールします。LF16Cの場合、ch1はGroup1、ch2はGroup2、同様にch16まで各GroupFaderをコントロールします。設定方法に関してはマニュアルのP2をご参照ください。

■リアパネル



RJ45端子

ControlSpaceのコントロールデータを出力します。

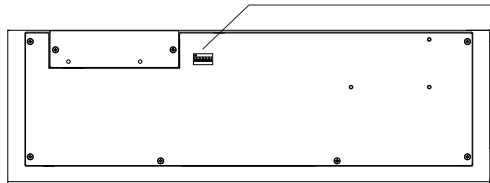
M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

DC IN端子

付属品のACアダプターを接続してください。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

DIPスイッチをOFFでControlSpace用、DIPスイッチをONで各スイッチに対応したチャンネルがPowerMatch用に設定されます。
※DIPスイッチ5、6は必ずOFFに設定してください。本機では使用いたしません。



PowerMatch対応チャンネル

-LF08C-

ch1,2 = DIPスイッチ 1
ch3,4 = DIPスイッチ 2
ch5,6 = DIPスイッチ 3
ch7,8 = DIPスイッチ 4

-LF16C-

ch1~4 = DIPスイッチ 1
ch5~8 = DIPスイッチ 2
ch9~12 = DIPスイッチ 3
ch13~16 = DIPスイッチ 4

-LF24C-

ch1~6 = DIPスイッチ 1
ch7~12 = DIPスイッチ 2
ch13~18 = DIPスイッチ 3
ch19~24 = DIPスイッチ 4

IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-CのIPアドレスは192.168.0.201に設定されており、DHCP非対応です。初期設定でIPアドレス192.168.0.160のControlSpaceシリーズをコントロールすることができます。

LF-CのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のControlSpaceのIPアドレスを変更する場合は弊社までお問合せください。(お問合せ先はP4をご参照ください)

サイズ

LF08C	W225×D132×H36	1.2kg
LF16C	W410×D132×H36	2.1kg
LF24C	W610×D132×H36	3.5kg
LF24C-EIA	W410×D132×H36	2.0kg

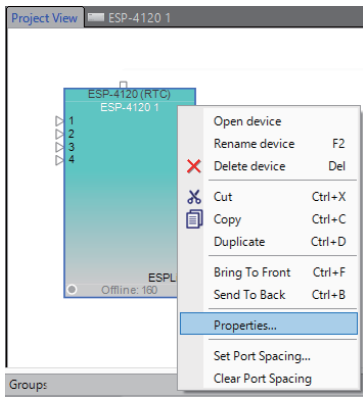
仕様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
IPアドレス初期値	:192.168.0.201
IPポート初期値	:10055
電源電圧	:9V / 0.3A (LF08C) 9V / 0.3A (LF16C) 9V / 0.4A (LF24C) 9V / 0.4A (LF24C-EIA)
付属品	:ACアダプター
塗装	:黒

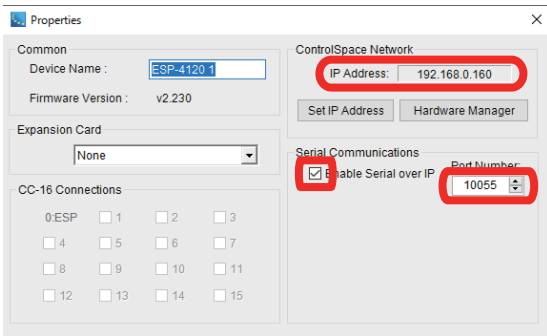
Control Space Designerの設定方法

※本マニュアルはソフトウェアバージョン 5.1.1での設定方法となります。

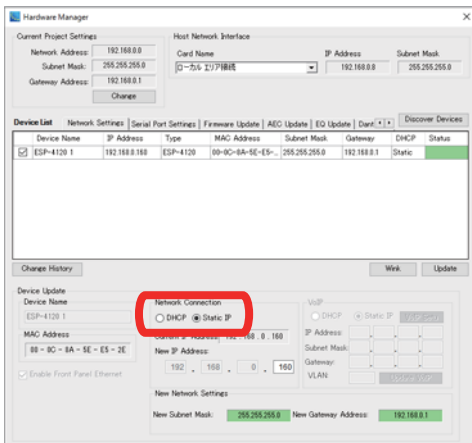
- ①Control Space Designerを開きProject Viewよりコントロールしたいデバイスを選択し、Propertiesを開きます。



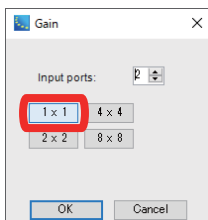
- ②Propertiesウインドウ内のIP Addressを192.168.0.160に設定しSerial CommunicationsのEnable Serial over IP にチェックをつけPort Numberを「10055」に設定します。



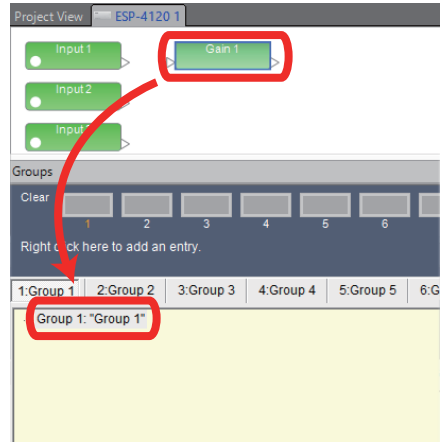
- ③Hardware Managerを開きNetwork ConnectionをStaticIPにします。



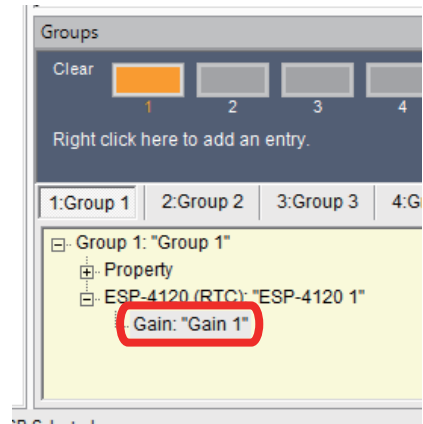
- ④コントロールしたいデバイスを開き、SP Tool KitからGainを必要な数追加します。ここではGain 1 × 1を選択しております。



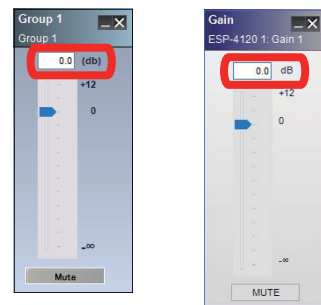
- ⑤各フェーダーに対応したGroupに、コントロールしたいGainを登録していきます。各GainをGroupsウインドウの任意のGroupへドラッグ&ドロップしSet Group Properties内のGrouping Typeで「Level+Mute」を選択してOKします。



- ⑥GroupsにGain1が追加されたことが確認出来たら、Gain2以降も同様にGroupへ追加します。



- ⑦GainとGroup XのFaderを表示し、コントロールするGainとGroupのレベルを同一に設定してください。

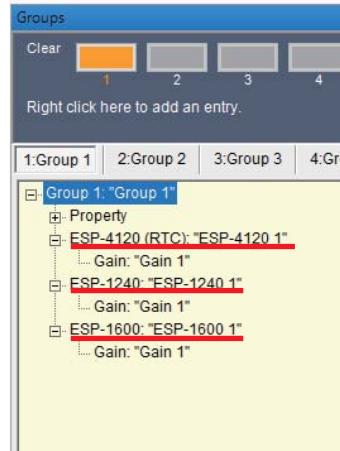
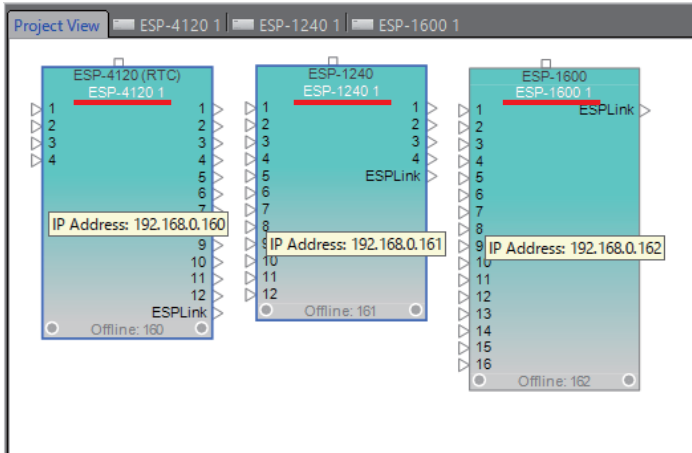


注意:LF-Cのフェーダーを操作する際、レベル差を保持したままコントロールされます。

■ 1つのLF-Cで複数のControlSpaceをコントロールする

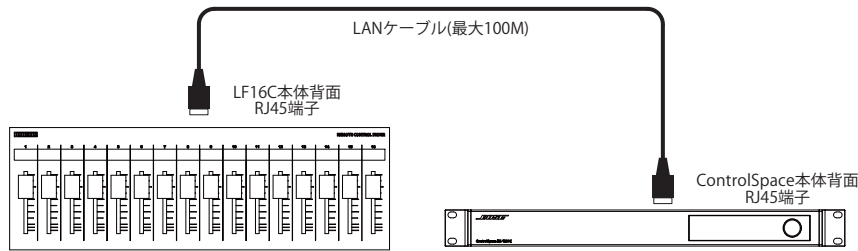
GroupはProjectにあるデバイス全てに共通するため、Project内に複数のデバイスがある場合、その中の1つが192.168.0.160であれば別のIPのデバイスもコントロールが可能です。

以下の画像のようにLF-C 1台でControlSpace 3台を操作することもできます。

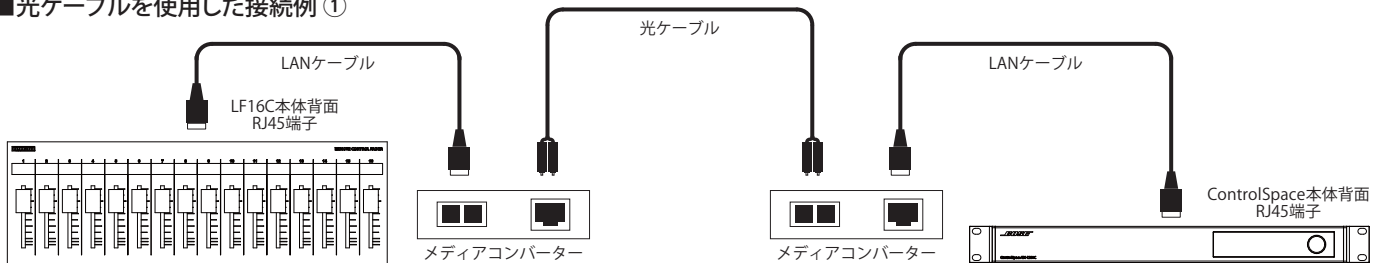


接続方法

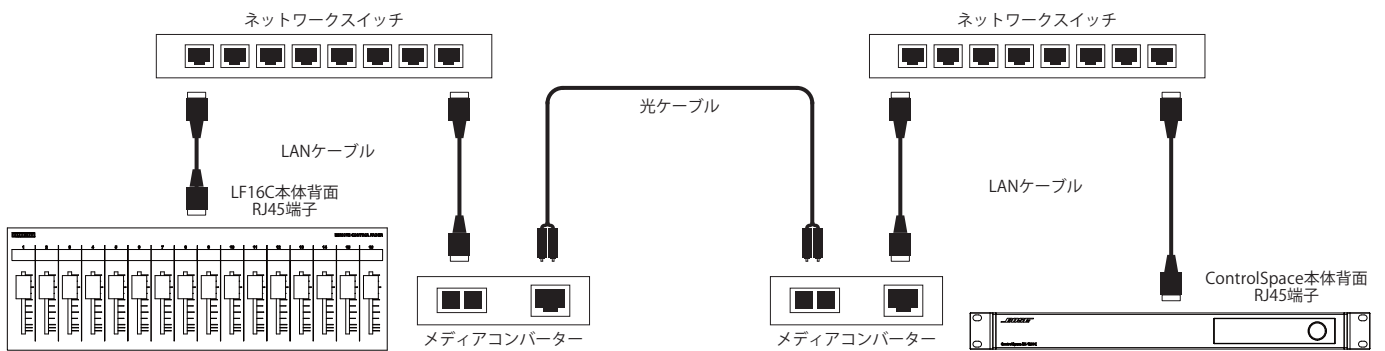
■基本接続



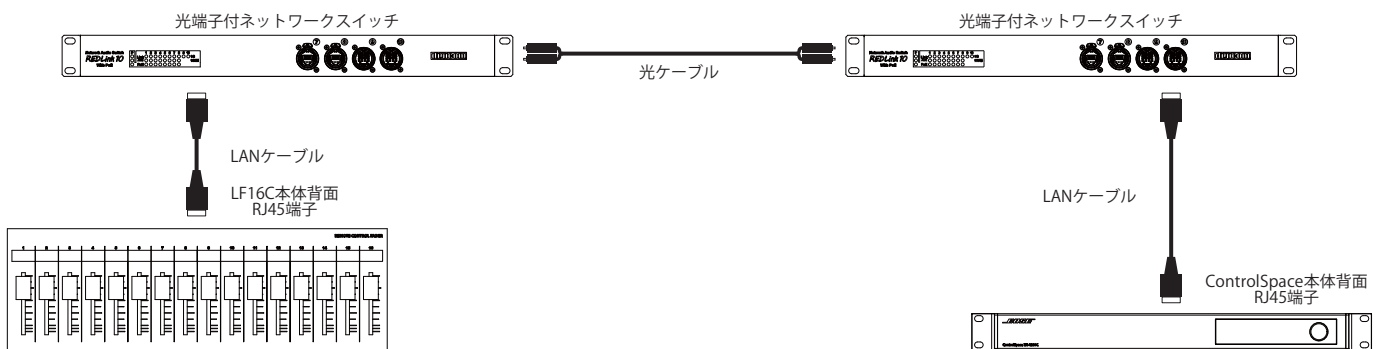
■光ケーブルを使用した接続例①



■光ケーブルを使用した接続例②



■光ケーブルを使用した接続例③



光ケーブルを使用する際は、光ケーブルを使用した接続例①の様にLF-C間にメディアコンバーターのみを使用するか、光ケーブルを使用した接続例②,③の様にLF側, ControlSpace側の両側にネットワークスイッチとメディアコンバーターをご使用ください。上記以外の接続で光ケーブルを使用した場合、正常に動作しない可能性がありますのでお気をつけ下さい。

動作検証済機器 メディアコンバーター : FiberPlex TD-6010
光端子付ネットワークスイッチ : digicom REDLink10(光端子はオプション), FiberPlex FP1004E(光モジュール別売)

■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されており、保証書は添付されておりません。
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ

有限会社デジコム

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

http://e-digicom.co.jp/